

## 背景・課題

予算額 2億円

- GIGAスクール構想に基づく端末整備はほぼ完了したが、**自治体間・学校間で端末活用に大きな格差が生じている**。また、1人1台端末を前提とした指導は全く新たな取組であるため、教育課程上の工夫や**指導技術が十分に確立していない**。⇒ 日常授業の改善を中心とする**効果的な実践例（指導技術、指導プログラム）を創出・モデル化し、都道府県等の域内で校種を超えて展開し全国展開**することで、学校でICTの「普段使い」による教育活動の高度化を実現する。
- 生成AIの技術革新やサービス開発が飛躍的なスピードで進展している中、教育現場においても、様々な活用のメリットを指摘する声がある一方、子供がAIの回答を鵜呑みにするのではないかなど、懸念やリスクも指摘されている。⇒ 生成AIの利用に関するガイドラインをもとに、生成AIを取り巻く懸念やリスクに十分な対策を講じることができる一部の学校において、個人情報保護やセキュリティ、著作権等に十分に留意しつつ、パイロット的な取組を進める。

## 実施内容

#事例創出 #GIGA #クラウド活用 #端末の日常活用

### I. 実践創出、普及・展開

**リーディング指定校：256校** (小135,中106,高11,その他4)

- 指定箇所（教育委員会）104箇所
- ※原則、同じ中学校区の小・中学校を組み合わせ
- 経費：1箇所 100万円程度  
指定校等視察旅費、講師謝金、学習会等参加旅費 他
- 選定方法：公募（とりまとめ団体が公募を実施）
- その他：学校DX戦略アドバイザーを年間10回優先派遣（事業経費とは別に、全額国費措置）

GIGA端末・クラウド環境を活用し、端末の日常使いを一層推進

- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
  - 動画教材の活用、外部専門家の参画を得たオンライン授業等
  - 端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実等
  - 校務のDXの推進
  - 実践内容を動画・写真、研修のオンライン公開などにより地域内外に普及
  - R5年度の指定校の取組を理解した上で、指定校としての努力目標を掲げ実施
- ※学校が丸ごと教育課程全体で実践を行う  
※基本的に、上記をすべて実施

(参考) R5  
リーディング指定校215校  
(小115,中94,高3,その他3)



### II. 生成AI実践

**生成AIパイロット校：66校** (教育利用49,校務利用61,両方44)

事例創出、普及・展開を実施する指定校で、生成AIパイロット校の指定を希望する学校を公募し、公募された学校の中から指定校を選定する。

※AIパイロット校としての別途経費なし

生成AIを活用した教育活動の充実や学校事務（校務含む）の効率化の事例を創出

- 生成AIの教育活動での活用（教育活用）や、生成AIの校務における活用（校務利用）の実施
- 実践内容を動画・写真、研修のオンライン公開などにより地域内外に普及
- 学校Webサイト等に活用の様子、授業公開日時、研修会公開予定等の公開を行うこと



(参考) R5  
生成AIパイロット校52校

### 特設サイト

掲載事例数 **1,651** R5公開学習会 申し込み回数 **30,180**名 (GIGA関連学習会含む) R5.3実施  
事例紹介動画再生総数 **94,147**回 授業動画 **36**本 (順次掲載)  
サイト閲覧数 **約39万**





# 生成AIパイロット校 成果報告会



11:30~	受付	
12:15~12:20	開会/趣旨説明	
	リーディングDXスクール事業 事業企画委員長 東京学芸大学 教職大学院 教授・学長特別補佐	堀田 龍也 氏
12:20~12:35	ガイドラインの改訂について	
	文部科学省 初等中等教育局学校情報基盤・教材課長 学校デジタル化プロジェクトチームリーダー	寺島 史朗 氏
12:35~13:05	基調講演	
	東京大学 国際高等研究所東京カレッジ 准教授	江間 有沙 氏
13:05~14:05	パネルディスカッション【情報活用能力と生成AI】	
	【モデレーター】リーディングDXスクール事業 事業企画委員 信州大学 教育学部 准教授	佐藤 和紀 氏
	【パネリスト】三重県 松阪市立米ノ庄小学校 校長 楠本 誠 氏 宮城県 岩沼市立岩沼北中学校 主幹教諭 伊藤 将人 氏 東京都 千代田区立九段中等教育学校 主幹教諭 須藤 祥代 氏	
14:05 ~ 14:20 休憩・移動		
ポスター展示		
14:20~15:05	前半	
15:05 ~ 15:10 休憩		
15:10~15:55	後半	
15:55 ~ 16:10 休憩・移動		
16:10~16:25	講評・閉会挨拶	
	リーディングDXスクール事業 事業企画副委員長 東京学芸大学 教育学部 教授	高橋 純 氏
16:25~16:30	閉会/事務連絡	
	リーディングDXスクール事業 事務局	